



たくさん刷っておいたので
たくさん使おうパンフレット

【 令和7年度「通常総会」を終えて 】

皆さま、こんにちは。事務局長の河又です。
去る5月21日(水)に開催されました「令和7年度通常総会」におきまして、6つの議案が可決承認されましたので、以下あらためてご報告させていただきます。

【議題とポイント】

①令和6年度事業報告および決算報告

⇒ コロナ明け直後の観光特需もひと段落し、計画値に対しては減収減益となりました。一般社団法人という組織の特性上、大幅な増益は望めないことから今後も同様の傾向が続くものと予測されます。

②令和6年度監査報告

⇒ 監事2名による監査の結果「適正」であった旨が報告されました。

③令和7年度事業計画(案)および収支予算(案)

⇒ 従来から大きな方針転換はありませんが、人員体制の縮小に伴い事業計画・予算ともに縮小する計画となっています。■人員体制：前年比75% ■収入：同56% ■支出：同61%

④令和7年度一般会計の一時借入金限度額について

⇒ 一時的な資金ショートなど万一の際にも速やかに対応できるよう、あらかじめ借入れ可能な条件と範囲を定め、毎年、総会の場で承認をいただくこととしました。

⑤任期満了に伴う役員の改選について

⇒ 新役員は次の通り決定しました。小谷代孝夫表理事(再任)、田中春治副代表理事(再任)、菅原圭介理事(再任)、菅原正史理事(再任)、小間章弘理事(再任)、池田重人理事(新任)、相澤雅也監事(再任)、阪井大輔監事(新任)

⑥新商品「貼めしの素」の製造・販売について

⇒ 地元ならではの素材を活かし、黒松内町ブランドのPRに資するような商品開発を目指して試作に取り組んでまいりましたが、本総会での承認をもって正式に製造・販売を行うことを決定しました。
販売開始の時期につきましては最終調整中につき、決まり次第あらためてご案内いたします。

【令和7年度版の新しい「くろまつないパンフレット」が出来上がりました！】

今回、新たに制作したパンフレットは従来版から大きくコンセプトを変え、「薄い・軽い・小さい」をキーワードに、誰もが気軽に手に取ることができて持ち運びがしやすく、場所を選ばずにどこでも手軽に読めるようなカジュアルな冊子を目指しました。

見た目の高級感や文章の読み応えといった点では従来型に及びませんが、新たに得た「機動力」という武器を最大限に活かし、これまでパンフレットでは対応が難しかったイベントでのサンプリング等をはじめ、今後は新たなPRチャネルの開拓などにも積極的に取り組んでまいりたいと思います。

取材・撮影等でご協力いただきました町内の皆さまには、この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

B2

ニュースレター

2025/6/30

7月の観光協会の主な事業
夏のフットパスイベント開催

【フットパスクラブ通信】

毎年恒例のコース点検featuring余市養護学校中等部。今年もご協力ありがとうございます！

【事業報告①】

天候に振り回された山開きですが無事開催出来ました！

【事業報告②】

ある日、何かの間違いなのか？テレビ屋さんがやってきた。ここキャン2025プレイボール！
※嬉野さんはいませんでした。

【じり通信No.36】文：山本竜也

6/10の寿都湾で割とびっくりするようなことが起きていました。みなさんご存じでしたか？

【編集後記】

同じ内容でも書く人(?)が変われば雰囲気から何からガラッと変わる再放送システムを採用してみました。

協会主催・協力イベント

フットパスイベント

7/20(日)開催予定です！いろいろ検討中です。
選挙と被るかもとかで実はめんどくさい日だったりしますが、皆さん遊びに来てね！

ビーフ天国

実は詳しいことはまだ知らないけれど、今年も協力する予定です。はっこ同盟から長万部と豊浦もくるとかこないとか・・・

SWの黒松内マルシェ

9/20-21の二日間で予定しています。
シルバーウィークといいつつただの土日じゃないか！と言われると、それはまあそうっすねとか・・・
祝日の配置が悪いは配置がぁ



フットパスクラブ通信 Vol. 20

余市養護学校中等部のみなさんと一緒にコース点検♪

5月14日（水）、黒松内フットパスクラブと余市養護学校中等部の生徒さんたちと一緒に、町内の「森林公園コース」の点検作業を行いました。総勢約20名での活動でした！

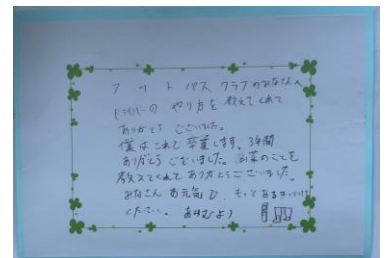
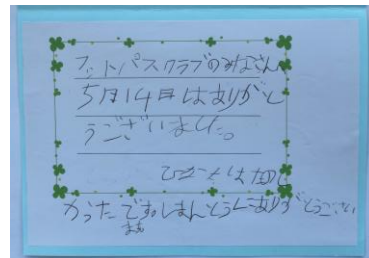
この日は、コース内の支柱に番号や矢印マークを取り付けたり、ペンキを塗り直したりといった作業を行いました。電動ドリルを使う場面もあり、最初は戸惑っていた生徒さんもありましたが、先生やクラブ会員のアドバイスもありみなさんすぐにコツをつかんで、スムーズに作業が進みました✨

予定していた点検を無事終えたあとは、あずまやで休憩タイム。あけいもとおやつを楽しみながら、ホッとひと息。その後は「ふれあいの森公園」内を一緒にお散歩しながら、自然の中で交流を深めました🌿

最後には、先生から「今年もフットパスイベントの景品を生徒たちが作りますよ」とうれしいお知らせが！さらに、全国フットパスの集いinニセコで使用する名刺のデザインもお願いしているとのこと。とても楽しみです♪

そして後日、生徒さんから手書きのお礼のお手紙が届きました。温かい気持ちが伝わってきて、スタッフ一同とても感激しました。

これからも、生徒のみなさんとの交流を大切に、楽しい活動を続けていきたいと思います😊（事務局:岡本）



事業報告①

ギリギリの青空に包まれて、みんなで登った黒松内岳～6月7日山開きイベントレポート～

6月7日（日）、黒松内岳の山開きイベントが開催されました。登山に参加したのは25名。スタッフを含めると、総勢34名でにぎやかな山登りとなりました。

本来は5月17日（土）の開催予定でしたが、あいにくの天候で延期に。再設定したこの日も前日までの予報では雨マークに心配が募りましたが、当日は時折小雨がぱらつくものの、概ね青空が広がる好天に恵まれました。

開会に先立ち、新川副町長と福本町議会議長からご挨拶をいただきました。しかも、新川副町長はなんとサプライズで登山にもご参加！一緒に山の魅力を体感していただきました。

黒松内岳といえば、太平洋と日本海、ふたつの海が一度に見渡せる景色が最大の見どころとなります。この日もやや霞がかかってはいたものの、皆でその眺めを楽しむことができました。

なお、事前の安全確認では、9合目付近のロープが切れていたり、支えの岩が落石していたりと、雪崩の影響が見られたため、黒松内ぎんりょう草の会による補修作業を実施しました。ロープの張り替えや補強のおかげで、当日は安全に通行でき、全員無事に下山することができました。

笑顔と自然に包まれた、素晴らしい山開きイベントとなりました。（事務局:岡本）



写真：役場新人カメラマンによる渾身の頂上記念撮影

事業報告②

ここをキャンプ地とする！

自然の中でひたすら食って飲んで騒いで寝る！たまにはキャンプっていいもんかもですね～

我々観光協会が直接呼んだわけじゃないので経緯は実はよく分らないですが、HTBのここキャン北海道2025の今年一発目はなんと！ここ黒松内が会場となりました。我々観光協会も精いっぱいサポートをしたつもりでございます。ほんとなんで黒松内へ？

あの水曜どうでしょうの藤村Dが来るってなってもう舞い上がっちゃったんでしょうね。我々黒松内町は異常な量の差し入れで迎え撃つ形になりました。なんと二日でじゃがいも60kgをお見舞いしてやりましたよ皆さん。それだけじゃないですよ。サツマイモ10kgや親鳥10kgもお見舞いしています。そして驚くことはこの差し入れは抽選会用の景品とは全く別のものであるということ。

抽選用の景品にはトワヴェール商品計11万円分やら水彩の森500ml24本入りひと箱やらキリカ食事券5000円分などなど、とにかく物量で攻める黒松内。必死さが伝わってきますね！さらに現場で売るビールも1杯500円、3杯なら1000円で販売！！突然算数も苦手になったようですが、二日で用意した分はしっかり売り切りました！でも4杯だと2000円取ります！なのに必ずもらえるイベント参加者特典は温泉券だけ！！？力入れるところがちょっとずれてるんじゃないかを感じる私でした。

とにもかくにもプレゼントいっぱいおなかいっぱい盛り上がってくれたようでこちらとしてはほっとしました。
各所から多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

当日の雰囲気はホームページの写真やYoutubeで伝わるかと思うので興味のある方はご覧くださいませ。

<https://www.htb.co.jp/cococamphokkaido/>

※ここキャン北海道で検索すればすぐ出てきます

それでも、発行時には第2弾の苫前会場の様子もアップされているはずなので、黒松内と比べて嫉妬しちゃうかもしれませんね。しらんけど(事務局：遊佐)



2時間後にすっころぶonちゃん
ピーフ君もいたよ



サイン入りプレートは
ルビックで飾ってあるそうです

じり通信No.36

日本海の霧 文：山本竜也

春から初夏にかけて、太平洋上に発生した海霧が南風によって、長万部から黒松内に入ってくることが珍しくない。ときには日本海にまで達することがある。しかし、逆のパターンはあまり聞かない。日本海で霧が発生して太平洋に向かうことはあるのだろうか。

6月10日、寿都町議の大串伸吾さんから、ドローンで撮影した写真が送られてきた。寿都湾が一面の海霧に覆われ、陸地に迫っている。南は島牧村本目から北は岩内町雷電にかけての広い範囲で似たような風景になったという。

この日、日本海の海面水温は12～15℃程度だった。一方、その上の気温は20℃を超えていた。暖かい空気が海上で冷やされたため、水蒸気が凝結して、水滴となり、霧ができた。朝のうちは南の風が吹いていたが、11時頃に北の風が変わったため、その霧が陸地に押し寄せた。気象衛星の画像にも、日本海上の霧が11時頃から陸地に伸びてくる様子が写っている。

大串さんの写真を見ると、霧は海岸付近にとどまっている。北風に乗って霧が侵入してくるものの、陸の気温が高いので、蒸発してしまったようだ。

太平洋側から霧が流れてくる場合は、内陸の気温が低めになりがちで、蒸発する量も限られている。また、春から秋にかけては太平洋側から日本海側に向かう風が吹くことが多い。気象条件がうまく揃わないかぎり、日本海の霧が黒松内を越えて太平洋に向かう景色はみられないだろう。



写真：寿都湾上の霧。大串伸吾さん提供。

編集後記※左側から読んでね

最近の動向

ここ最近物販のイベントが続いております。

5月は札幌地下歩行空間、ここキャン

6月は豊浦いちご豚肉まつり、長万部毛ガニまつり

観光協会は直接関わらなかったけどエスコンでもやっていますね。

7月末にもまた札幌でなにかあるらしいですよ？

とりあえずとにかく露出してって黒松内を知ってもらおうという算段でございます。なので、どちらかといえばパンフレットをばらまきたい！そんなイベント出店機だったわけですね。

そんな中いろいろと延びに延びてモヤモヤしていた新パンフレットもついに完成！ユニフォームも制作中！ということで、とりあえず認知してもらうように頑張ろうという黒松内町の意気込みを少しだけ感じることができました。ただ、「で？それからどうするの？」って部分がちょっと見えてきません。

知らなきゃ遊びに来ると判断すら出来ないのを知ってもらうための努力はよいです。一生懸命こんな街です！って種蒔きは頑張っているけど、水をやる気はあるのか？ってのはどうもピンときません。心配です。我々観光協会としてもどう動いていくのが良いのかいまだにピンとこない現状でございます。そんなことを思いながらもう1年たってしまいました。

観光屋さんとしてほんとうに町はやっていけるのかというそんな気はまるでしないのが正直なところで、やっぱり町に来る動機をもっと増やす必要があるのかなぁと思います。ただし、それをみんなが望んでいるか？というこれまた別の話ですね。

この町は「のどかで自然豊かで静かな町」だけだと視点を変えると「どこかもう満足してしまって前進よりも現状維持を望む町」という2面性のある町と感じます。

実際町民の皆さんはどちらもふわっと実感はしているのでは？と思っています。ちゃんと意思表示しないと当然伝わりませんので、いろいろご意見もらえると我々としても助かりますので、引き続き協力よろしくお願いします。

というちょっとだけマジメな話でした。

この話をAIにさらにクソ真面目っぽくしてもらうとこうなりますというのが右側です！(つづく)

つい最近黒松内町まちづくりアンケートなんてものもありましたね。なかなかまじめに書く(色んな意味で)疲れるアンケートでしたが皆さんは意見書いてあげましたか？(事務局：遊佐)

オマケ

ホームページでひっそりと告知していますが、観光協会は実はLINEアカウントを作っております。

こちらからの発信はあまりしませんが...

QRコードを貼っておきますので熱狂的観光協会ファンの方は友達登録してみてください。

LINEのオープンチャットも開いていますので友達にはなりたくないけどモノ申したい方も匿名で参加も可能です。

オープンチャット名：黒松内ってどうよ？です。黒松内で検索するとすぐ出てきます。

所詮我々は外様であり真に当事者なのは町民の皆様である、という点も少し意識していただいて色々ご意見いただけるとこれ幸いです。

観光振興における最近の動向と今後の課題

1. 最近の活動動向

ここ最近、物販を伴うイベントへの出店機会が増加しています。5月は札幌地下歩行空間やここキャンへの出店に加え、6月は豊浦いちご豚肉まつり、長万部毛ガニまつりに出展しました。また、観光協会は直接関与していませんが、エスコンフィールドでのプロモーションも実施されています。7月末にも札幌でのイベント出店が予定されており、多方面での露出強化が図られている状況です。

これらの活動の主たる目的は、黒松内町の認知度向上であり、パンフレット配布を通じた情報提供が主な動機となっています。

2. 認知度向上施策の進捗と次の課題

新パンフレットが完成し、ユニフォームの制作も進行中であることから、黒松内町の認知度向上に向けた具体的な取り組みが進んでいることは評価できます。町の意欲を感じる一方で、「認知度向上後の具体的な戦略」が不明瞭である点が課題として挙げられます。

「知ってもらうための努力」は重要ですが、それが「来訪・消費に繋がる具体的な施策」へと展開されていない状況に対し、懸念を抱いています。これは、私たち観光協会としても、今後の具体的な活動方向性を見出す上で、いまだ明確な指針を持てずにいる原因でもあります。私たちはこの状況に直面し、すでに1年が経過しました。

3. 今後の観光振興における本質的な課題

現状の観光振興策のみで町が持続的に発展していくかという、正直なところ、困難であると感じています。根本的には、町への来訪動機をさらに創出する必要がありますと考えます。

ただし、来訪動機を増やす施策が、町民全体の意向と合致しているかという点も、同時に考慮すべき課題です。

黒松内町は、「のどかで自然豊かな静かな町」という側面を持つ一方で、「現状維持を望み、前進よりも満足を選んでいる町」という二面性があると感じています。

4. 提言と協力をお願い

町民の皆さんは、この二つの側面を漠然と実感されているのではないのでしょうか。今後の観光振興を効果的に推進していくためには、観光をあくまで「手段」と捉え、その先に町が目指すべき具体的な「目的」を明確にすることが不可欠です。

そのためにも、町民の皆さんからの率直なご意見やご提案は、私たち観光協会にとって非常に重要です。引き続き、皆様からの積極的なご協力をお願い申し上げます。

将来



観光協会HPにて[B2]バックナンバーがご覧になれます。

www.bunatatourism.com

印刷版をご希望の方は観光協会までご連絡ください。



発行人：一社) 黒松内町観光協会 発行日：2025/6/30 次回発行予定は9月末

TEL：0136-72-3597 FAX：0136-75-7070 Mail：bunatatourism@gmail.com